



1番草は、年間収量のうち、オーチャードグラスで40～50%、チモシーで70～80%を占めると言われています。今月の市場通信では、1番草収量を増やす施肥のタイミングについて説明します。

## 「萌芽期」の施肥で1番草収量アップ！

1番草収量アップに最適な早春施肥のタイミングは、「**萌芽期**」という草地の40～50%が緑化した時期です（図1）。この時期に撒くことで有穂茎をより多く増やすことが出来ます。

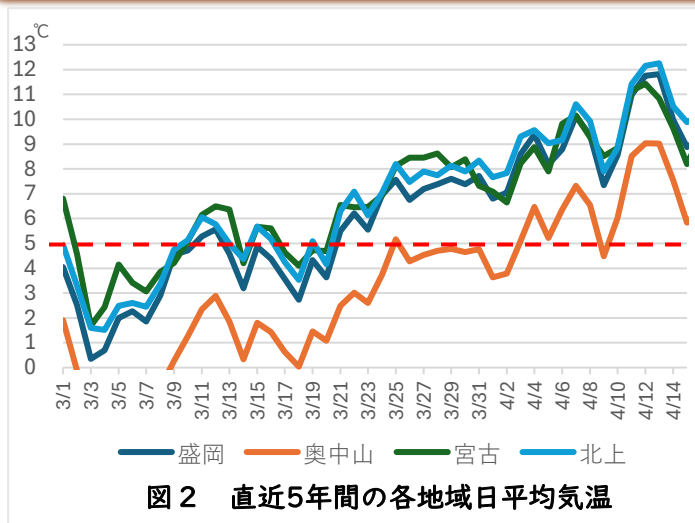
有穂茎は、名前のとおり穂がつく茎のことで、無穂茎(穂をつけない茎)と比較して1茎あたりの重さがオーチャードグラスで**6倍以上**、チモシーで**7倍以上**になります。



図1 萌芽期の圃場の様子  
(八幡平市R7.3.28)

出典：八幡平農業改良普及センター

## 「萌芽期」の目安は日平均気温5℃



「萌芽期」の目安は、イネ科牧草が生育を開始する日平均気温が5℃を下回らなくなる時期です。

過去5年間の気象データ（アメダス）で見ると、「萌芽期」にあたる時期は、盛岡、宮古、北上では3月下旬頃、奥中山では4月上旬頃です（図2）。

ただし、近年の気温上昇により早まる可能性があります（表1）。

気温はあくまで目安として参考にし、草地の40～50%が緑化し圃場が乾いてから施肥をしましょう。

表1 萌芽期の目安\*（平年値と2025年）

地域	平年値	2025年
盛岡	3/31	3/21
北上	3/27	3/21
宮古	3/25	3/21
奥中山	4/12	4/3

\*日平均気温が5℃を下回らなくなる時期

# 【実証】「萌芽期」施肥の効果実証試験

八幡平普及センターで実施した「萌芽期」施肥の効果実証について説明します。

## 試験内容

場所:八幡平市

肥料:草地化成211 50g/m<sup>2</sup> (50kg/10a相当)

草種:オーチャードグラス主体

試験方法:「萌芽期」(R7.3.28)から一週間間隔で施肥、出穂期に収穫。

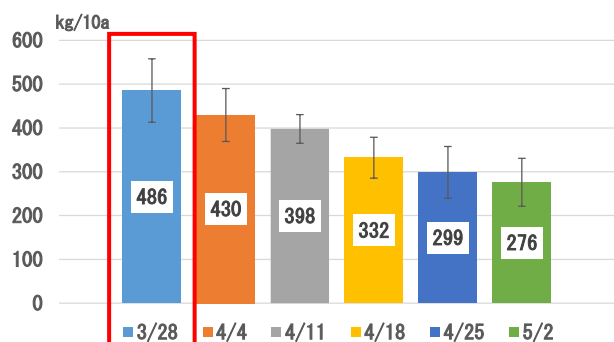


図3 施肥時期の違いによる牧草乾物収量

出典:八幡平農業改良普及センター

実証の結果、「萌芽期」(3/28)に施肥をした区が486kg/10aと最も乾物収量が大きいという結果となりました。

また、施肥時期が遅くなると乾物収量が減少していくという傾向が分かりました。

## まとめ

早春はなるべく早く施肥しましょう！

ただし、圃場を傷めないよう乾いてから作業することを忘れないようにしてください！

## 繁殖サイクルを回してガッチリ ~見えない儲けをわしづかみ!~

第10回は『維持期の栄養管理』と維持期(分娩前)にやるべきことについての内容でした。今回は、妊娠末期から授乳期にかけての栄養管理についてお伝えします。



↑ 県飼養管理  
マニュアルの  
ダウンロード

### 第11回 妊娠末期～授乳期の管理(栄養管理)

#### 1 分娩2か月前～授乳期は飼料を増給

繁殖牛は、分娩2か月前から授乳期は、胎子の発育や子牛への泌乳により維持期より必要な養分量が増加するため、増飼が必要となります。

表 各ステージの飼料給与例

時期	配合飼料 (kg/日)	乾草 (kg/日)
維持期	0~1	6~8 (品質:並)
妊娠末期 (分娩2か月前~分娩)	1~2	6~8 (品質:良)
授乳期 (分娩後1か月)	2~3	8 (品質:良)

※ 配合飼料の成分値: CP 18%、TDN 72%

※ 繁殖牛飼養管理マニュアル(2026年版) 県南局版より

#### 2 増飼いは重要!

##### (1) 栄養配分の優先順位(繁殖牛の場合)

- ①生命維持 ②胎子の発育 ③母牛の成長
- ④産乳 ⑤体脂肪蓄積 ⑥卵巢機能の回復

栄養不足は、真っ先に繁殖成績悪化につながり、子牛生産頭数の減少や、子牛販売収入の減少に陥ってしまいます。

##### (2) 子牛の胸腺の発達

胎子は分娩2か月前から急激に大きくなります。この時、免疫機能(白血球を生産)である胸腺も同時に発達するので、栄養が不足すると虚弱子牛が生まれる可能性が高くなります。

### 注意!

必要量以上に飼料を給与すると過肥になるので母牛の状態やBCSを観察しながら、少しずつ量を増やしましょう!